

第2回国際交流を 楽しむ会の開催

2022年9月10日(土)、コミュニティセンター大宝の大会議室で、栗東市の友好都市である中国湖南省衡陽市を訪問した方々から、体験談などを聞きました。はじめに平田会長より、今年が衡陽市と友好都市提携30周年であり、来年が湖南省と滋賀県の友好都市提携40周年という紹介がありました。

2005年と2018年に訪問した藤崎前会長(現顧問)より、友好都市交流を真の交流とするため、訪問前の事前学習・相手を理解し自分を知ってもらう・継続性・若い人に進めてもらうこと・日頃からの在住外国人との交流・他団体との連携などのポイントを教えていただきました。

2018年に訪問した石川総務広報委員長より、中国での報道画像と現地撮影ビデオを5分に編集した衡陽市の想像を絶する熱烈歓迎の姿などの動画を基に、カメラに囲まれて報道され、衝撃を受けられた話を聞きました。

2001年や2019年などに訪問した清水浩さんより、多くの資料を提供いただきました。さらに、滋賀県立国際情報高校と交流をした衡陽市第七中学を中心とした交流の様子を講演いただきました。日本語科の生徒が800人在籍して、日本と積極的に交流されている学校との話でした。ビザなしで滞在できる2週間で各地を訪問され、南部が郊外で広いことや少数民族が多いこと、ホームページに情報を掲載していると言われることなど、公式訪問だけでは気づかない現地の様子を教えていただきました。また、清水さんには、4・5頁に紀行文を寄稿いただきました。



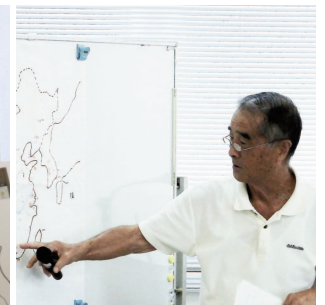
平田会長



藤崎前会長(現顧問)



清水浩さん
(4・5頁に紀行文あり)



長谷川宏さん

2007年に訪問した長谷川宏さんより、中国各地を訪問した経験を踏まえて湖南省や衡陽市を紹介いただきました。具体的には、湖南料理は湘菜と呼ばれる中国八大料理の一つで最も辛いこと、飲み会で白酒を一気飲みする習慣があること、衡陽市には南岳衡山という中国五岳の一つがあること、街角でダンスする人がたくさんいることを紹介いただきました。

最後に、話者と参加者を囲んだグループ討議を実施し、衡陽市との交流について感想を共有しました。コロナ禍が解消され、衡陽市へ再び訪問し会える日が来ることを願っています。



衡陽市の資料を読む参加者



グループ討議の様子

栗東市内で海外旅行気分 第3弾 ラテン料理店 「Raices(ライース)」訪問

2022年9月3日(土)、市内高野にある「Raices」に、6名で訪問しました。店内には、ラテン料理のイラストが描かれ、サルサなどのラテン音楽も流れて雰囲気十分でした。

店主は、ペルー出身の谷口デボラさん。1991年に親に連れられて来日し、栗東市内の中学校を卒業しました。RIFAでは、スペイン語の通訳や、イベントでペルー家庭料理披露をしてくださいました。日本人にもペルー料理を知ってもらいたいと考え、調理師免許を取得し、数年間計画して資金集めを実施した後、2022年の6月に開店されました。



店主の谷口デボラさんの話をみんなで聞きました



料理のイラストが描かれた壁



「ペルー産のビール」
トウモロコシ入りで飲みやすい



「カウサ(Causa)」
見た目が鮮やかな前菜



「アロス コン ポヨ」
(Alloz con pollo)
パクチーを使った鶏肉の炊込みご飯



「アロス コン チャンチョ」
(Arroz con chancho)
豚肉を使った炊込みご飯
初めて食べても懐かしい味がる



「セコ コン フリホーレス」
(Seco con frijoles)
ビール味のコクも楽しめる豆の煮込み料理



「紫トウモロコシのジュース」健康的で爽やかな甘みがおすすめ



2008年のRIFAイベントで
ペルー料理を作るデボラさん



「アヒ デ ガジーナ」
(Ahi de gallina)
濃厚なクリームを使った鶏の煮物



「セビーチェ(Cebiche)」
新鮮な魚介類と炒ったトウモロコシ等を
レモンで味付けした爽やかなサラダ



「ルクマのアイス」
(Helado de Lucuma)
栗のような美味がする「ルクマ」
という果物を使ったアイスクリーム



「チュベ デ カマロネス」
(Chupe de camarones)
エビや野菜などが溶け込んだ贅沢なスープ



料理を取り分ける堀池さん



「サルチパパス(Salchipapas)」
ウイナーが乗ったビールと
よく合うフライドポテト

是非、あなたもラテン料理を楽しんでみてください。



お店の前で記念撮影



取材班のみんなで乾杯!



石川総務広報委員長も
クラウドファンディングに参加!

最も身近な相談相手として親身に対応します!

ToGo Accounting Office 東郷会計事務所

公認会計士・税理士 東郷 鐘 吾
税理士 東郷 修

事務所 〒520-3015 滋賀県栗東市 安養寺8丁目5番19号
TEL (077) 554-1218
FAX (077) 554-1219
E-mail: togo@tkcnf.or.jp

タイル販売・施工業者

株式会社 びわ湖タイル

新築、リフォーム等、タイルの事ならお問い合わせ下さい!

レンタルルーム受付中! 楽天市場出店中!

〒520-3014 滋賀県栗東市川辺 201-4 代表取締役 中野 光一
TEL: 077-553-1076 FAX: 077-553-2011
Mail: info@biwako-tile.co.jp HP: http://www.biwako-tile.co.jp/

総合建設業 **SANTO**

技術を社会に、笑顔をあなたに。

株式会社 三東工業社

滋賀県栗東市上鈿480 TEL: 077-553-1111

LIONS CLUB INTERNATIONAL

栗東ライオンズクラブ

水回りや大型ごみの処分にお困りなら

おうちの
お回りごとは
栗東さん

お任せください!!

栗東総合産業株式会社
☎077-552-1711
栗東市十里224番地

ワクワクするはたらき方で
未来をカタチを作る!

「はたらきやすいオフィス空間」、「はたらくことが楽しく感じる働き方」をお客さまと共創する事により、新たな価値を生み出し、生産性向上や業績アップに貢献します。

デジタル化、DX導入支援 リノベーションデザイン工事
オフィス環境整備工事 サイバーセキュリティ対策
BCP対策環境整備 無料相談受付中!

株式会社 田中誠文堂 滋賀県栗東市安養寺6-6-12
TEL: 077-553-2345 Email: info@seitundo.co.jp

湖南省と滋賀県は湖（洞庭湖と琵琶湖）の取り持つ縁で1983年に友好省県になり、衡陽市と栗東町（現栗東市）は1992年友好都市になった。2001年2月中旬栗東町（現栗東市）で中国書画展が開かれ、5人の書画家が来られた。彼らと話して衡陽市訪問に興味を持ったのと、2001年3月初旬に四国遍路を終えたので、中国五岳巡礼を思い立ち、その1回目として南岳巡礼となった次第である。



雁峰公園
(衡陽市人民政府のホームページ)

3月25日 正午近くになって雨もあがり、公園巡りに出掛ける。バスで湘江南大橋畔に出て、丘壩公園に歩く。ついで近くの雁峰公園に寄る。標高97mで峰とは言い難いが、南岳72峰の最南峰である。

雁の南下もここ止まりで、また北に帰ってゆくことから回雁峰と

言われる。山頂の742年創建の雁峰寺は先の日中戦争で焼失したとのことで、前殿のみが残っている。ついで石鼓公園は小規模だが景色の良い所に有る。ここに中国四大学校の一つが有った。

3月26日 宿舎を8時30分に出発した。9時30分に長距離バス乗車し、10時20分に南岳鎮に着いた。南岳72峰のうち43峰は衡陽市南岳区に集中し、他の29峰は北の長沙市まで137kmにわたって点在している。中国らしいスケールの大きさである。11時に登山口を出発した。30分程登ったダムの手前で前に行く少年が、カバンを持ってやると聞かないので彼に託す。彼は半山亭の食堂の息子で毎日徒歩通学とのこと。結局彼の紹介で紫竹林賓館に泊まり、食事は彼の食堂で2日間母姉の世話になった。3時30分に、半山亭に着いた。ホテルに荷物を置き昼食をとって、14時30分に南台寺へ向かう。南台寺は日本曹洞宗の祖庭とのこと興味深く参拝した。蔣介石夫人がよく泳いだと言う霊芝泉や、仙女が母の長寿を祝い霊芝で酒を造って献じた麻姑仙境に行った。しかし今はロッジ風のホテルになっていて、その趣は少なかった。同じ道を通って18時にホテルに帰着した。北京産焼酎のお湯割りで疲れを癒やした。

3月27日 7時40分に出発した。昨日少年の友達が、日の出を見るなら5時半バイクで送ってやると言ったが、日の出



南岳大廟(中華人民共和国文化・観光部)

よりも歩いて登りたいため断った。スタートからきつい坂道が続く。車道を縫うように昔からの石段道が頂上目指して続く。この道を杜甫や李白・韓愈等が登った。石段道は足への負担も大きく、歩き難いが本日行程の半分(16700段)は石段道であった。9時に南天門に着いた。眺望が展げ雄大である。中国特有の山容が幾重にも重なっていて、その壮大さには息を呑む。最高峰の祝融峰(標高1290m)に予定より30分程早く着いたので、予定外の芙蓉峰にも登った。朝は霧が結構深かったが、もうすっかり晴れ、絶好の登山日和となった。藏経殿の参拝を済ませ祥光峰を下山していると何の花か、黄、白の中に処々山桃のピンクの配色が鮮やかである。今を盛りに木々の芽は萌え、桃源郷の境地である。午前登った祝融峰も遙かに霞んで見える。まさに唐詩の世界そのものである。麓の車道を横切ると天柱峰の登り口がある。名山と言われるだけあって、山容もさることながら、登山路が変化に富み、眺望や頬を撫でる風が強い陽射しを和らげ、心を和ませてくれる。14時に下山を開始した。15分程下ると、南天柱石の大きな字が見えたので、すぐ下まで行く。1936年私の生年に刻字されたようだが、1字5m位の大きさがあり、3~4km先からも見えるそうである。途中擲鉢峰に登って、16時前に昨日の磨鏡台に着いた。



最高峰の祝融峰(標高1290m)
からみた景色(注1)

3月28日 半山亭を7時30分に出発した。一昨日の道を下山、1時間半歩いて長距離バスセンターへ。切符を予約しタクシーで水簾洞に向かう。滝と景色は見栄えが有ったが、洞は名ばかりのものであった。本日は、昨日・一昨日と違って寒くて、今にも降り出しそうな雲行きになった。滝を上下から眺め、歩いて南岳大廟に戻る頃には突風が吹き荒れ、木の葉と砂塵が巻き上がり、目も開けていられない状態になった。大廟の中に入ると殆どその影響が無くなった。江南地方最大の宮殿式建築で10万平方メートルの敷地に大小無数の建物がある。創建以来1300年、6回大火に遭い、16回修理された。1時間程見てバスで衡陽に戻る。駅に着く頃には雨が降り出した。真夜中に列車を乗り継ぐ頃には寒波襲来となり、それが昼近くになると夏を思わせる陽射しとなる、非常に寒暖の激しい気候となった。

3月29日 登山の3日間はとても良い天気恵まれ幸せであった。また7ヶ寺参拝と南岳四絶のうち3つ、五峰為最著のうち3峰に登れたのも満足であった。

友好都市「衡陽市」再訪問(2019年)

ほぼ20年後である2018年、湘滋友好提携35周年、県民友好団参加時RIFA藤村団長に触発され、今回(2019年)の訪問となった次第である。

2019年8月20日～8月23日に、衡陽市内観光として、衡陽保衛戦記念館と、衡陽市立図書館と、名店街食堂を訪れた。

2019年10月16日に、衡陽市の珠輝区役所を訪問した。区役所訪問時に、いつも会う副区長が留守で、区長が応対された。しかし、私の中国語が通じないので、日本語を話せる女性を呼んでくれた。それが第7中学の女性教師であった。窮すれば通ずるとも言えるが、有り難かった。余裕ができたので市内観光へ行った。衡陽保衛戦記念館は前回強烈な印象があったので、今回ゆっくり見学した。日中戦争末期(1944～1945年)に、衡陽市内全域で数日間にわたり激しい戦いが有った。中国守備軍1.8万人に対し、日本軍13万人で攻撃した(中国資料による)。衡陽市内は廃墟化が進み、日本軍も軍の体裁をなさぬ迄に損傷を受けた。柳州の米軍飛行場の完成につれ、重慶からの中国軍戦闘機とあわせ、空からの攻撃が加わって損傷が増大した。特に栗東出身兵の属する部隊は消滅した。(栗東花園墓地に関連石塔数体あり)。場内で動画を鑑賞できる。今は国防教育基地として整備され、退役戦闘機、戦車、州が陳列されている。自慢は花田景観で、春は桜、夏は蓮、秋は楓、冬は竹林と季節ごとに色を変え覇を競っている。建物は弾痕も目に付くが1881年に建造された典型的な湘南民居の古建築群が異彩を添えている。

すぐ近くに、南華大学の新校舎があったので寄る。帰りス

クールバスで本校(医学部主体)に向かう。小山を丸々キャンパスにした感じで無数の研究室が散在している。日本語課程もあり、国際交流の職員がいた。

夕食は宿の近くでとった。衡陽駅前の香港風食堂名店街で、飯麵魚肉類何でも有り、便利で安いので、毎日利用する。朝は米線(お米でできた麵)、昼は中華弁当で、宿代や交通費を含め生活費3～

400元/日で足りる。目下の経費は、一回(ビザなし滞在は2週間)当たり、15万円(航空券10万円と生活費5万円)である。概して衡陽市は、農産物主体の観光都市であるが、生活費が安いのは助かる。



朝ごはんの米線=お米でできた麵(注1)
注1:ACワークス株式会社の無料写真素材

北の工業都市に比べ、年々収入の差がひらくのが地元民には不満らしい。

第七中学(日本では高校に相当)は、英語科と日本語科があり、日本語科は省内一の実力高校らしい。日本留学の女性教師も存在し、日本の高校との交流希望もある。それを推進し、同時に市民交流を進めたいと思った。



滋賀県立国際情報高校(栗東市)と 第七中学(衡陽市)の交流(テレビ会議)を開催!

9月27日に両市の高校生によるオンライン交流事業が実施されました。当協会の平田善之会長も出席し、両市の友好関係や高校生という若い世代の交流が今後も続いていくことを祈念して挨拶をされました。交流事業ではお互いの市をPRするため制作された動画が上映されました。動画制作は、今年7月に



平田会長によるオンライン交流のあいさつ

市内の滋賀県立国際情報高校で中国語の学習をしている生徒5人がリポーターとして栗東観光案内所、TCCセラピーパークの2か所を回り、中国語で栗東市のスポットをPRした様子を撮影しました。また、市を代表して、滋賀県立国際情報高校の田邊莉子さんが自らの中国語学習への思いや将来の夢などを発表され中国に対する田邊さんの強い思いを衡陽市に伝えました。

今回のオンライン交流事業により、衡陽市の第7中学(高校生)の生徒の歌と踊

りの映像や、お互いの市の紹介動画で交流を深めたことは、両市を知る貴重な機会となりました。



滋賀県立国際情報高校の皆さん

【異文化交流サロンのお知らせ】

12月10日(土)の13時30分より、コミュニティセンター大宝東で、「イタリアのクリスマスを知っていますか?」と題して、栗東市に住む神利アレサンドロさんを講師に招き、イタリアでのクリスマスの過ごし方やイタリア各地の食の特色などを教えていただく予定です。皆様のご参加をお待ちしています。

【2022年度の主催事業予定】

今後の栗東国際交流協会の主催事業予定です。事前予約が必要な事業もありますが、国際交流を推進するため、皆様のご参加をお待ちしています。参加ご希望の方は、事務局までご連絡ください。

なお、コロナなどの感染状況や天候・災害などで中止となる場合があります。

| タイトル | 開催時間 | 場所 |
|--------------|-------------------------|-----------|
| 栗東ロテリアウォーキング | 3月26日(日) 13:30～16:00 | JR栗東駅西口集合 |

会員募集中!!

【会員特典】

- 当協会イベントや講座参加費の割引
- 会報「Koryu」やイベント案内のお届け

【年会費】

個人 2,000円 家族 3,000円 法人 10,000円

【有効期限】 入会日～2023年3月31日まで

【納入方法】 事務局窓口にて現金払い、もしくは金融機関振込(当協会指定振込用紙)

国際交流やイベントに参加してみたいと思われる方、まずはRIFA事務局までお気軽にお問い合わせください。

TEL: 077-551-0293 (月～金 9:00～17:00)

FAX: 077-551-0432 メール: mail@rifa.jp

ホームページ: <https://rifa.jp>

Facebook: <https://www.facebook.com/RIFA.Ritto>

RIFA日本語教室

日時: 毎週第2・4土曜日 10:15～11:45

場所: コミュニティセンター大宝

授業料: 無料

日本語を学びたい人、ぜひ来てください。

中国語自主講座

講師: 史云香先生

日時: 月3回土曜日 10:15～12:00

場所: コミュニティセンター治田東

受講料: 3,000円/月 レベル: 中級

ピンイン(中国語の発音表記法)の無い中国語の文章を読み、中国語を楽しむ講座です。

外国人相談窓口(ポルトガル語)

日時: 毎週水曜日(祝日は除く) 13:00～17:00

場所: 栗東市役所3階 栗東国際交流協会内

*予約不要、相談料は無料です。

日本語であれば、月～金の9:00～17:00も問合せ可能です。

春夏秋冬

長かったコロナ禍もそろそろ…となるかと思いきや、インフルエンザと同時流行するのではないかと危惧されている今日この頃。空港等での水際対策が緩和され、京都や大阪などの大都市に行くと、訪日外国人の方々をちらほらお見かけするようになりました。円安の影響で、物価高に喘ぐ自国よりもおトクにショッピングやお食事ができるとのことで、インバウンドに人気のお店も、コロナ禍以前の活気に戻つつあります。

方や日本人が海外旅行をしようとする、円安・世界的な物価高・化石燃料の高騰などにより、コロナ禍以前より遙かに費用が掛かってしまい、二の足を踏めない状況です。そんなもどかしさを、当誌Koryuを読んで、ほんの少しでも和らげてくだされば、幸いです。

私たちは“水処理技術”で企業、環境に貢献します。



設計・施工、水質分析、コンサルティングのトータルソリューションサービス

KSK 環境創研株式会社

〒520-3024 滋賀県栗東市小柿9丁目3番26号

TEL: 077-553-0099 FAX: 077-598-0299

<http://www.kankyosouken.co.jp>



地域経済の活性化に貢献する

栗東市商工会

栗東市商工会館

栗東市手原三丁目1-25

TEL: 077-552-0661/FAX: 077-553-5263

栗東駅前支所(ウイングプラザ管理事務所)

栗東市総二丁目4-5 ウイングプラザ 4階

TEL: 077-552-3066/FAX: 077-552-1146

組合員・利用者へ寄り添い信頼され、地域社会に貢献し続けるJAを目指します

J A レーク滋賀

栗東地区統括本部

〒520-3016 滋賀県栗東市小野493-1

TEL 077-552-0531

FAX 077-552-3137

e-mail rittouchiku-kanri@lakeshiga.jas.or.jp

今までに無かったオフィス用品購買システムを提案する!

smartoffice

株式会社 **宝文堂**

<http://www.hobun-do.com>

TEL.077-551-1111/FAX.077-551-2345

滋賀県栗東市手原4-2-28

私たちは、サステナブルな社会への変革を目指します。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



滋賀銀行 栗東支店

御料理 **魚新楼**

滋賀県栗東市小野789

TEL 077-552-0026

(株)ウェルズネット **welsnet Corp.** TEL: 070-5500-7075

■チラシ (例: A4 フルカラー 1,000部、デザイン+印刷... 税抜20,000円～)

■フルカラー封筒 (例: 角2白ケント封筒(テープ有) 500枚... 税抜9,600円～、長3白ケント封筒(テープ有) 1,000枚... 税抜11,500円～)

<http://welsnet.jp>

土木建設業・骨材生産販売・産業廃棄物中間処理業

Intertek ISO 9001:2015 認定番号 0001584 エコアクション

三大宝建設(株)

栗東市御園452番地

TEL 077-558-2438/FAX 077-558-2249

<http://www.sandaiho.co.jp/>

e-mail sandaihocon@surry.ocn.ne.jp